# 「みんなが楽しく過ごす学校」「地域とともにある学校」

# 大堀小学校

今回ご紹介する大堀小学校では、「みんなが楽しく過ごす学校」「地域とともにある学校」の二つを学校教育目標に掲げ、日々学校教育活動を行なっています。今年度の重点目標は三つあります。

①自立した学び手を育てる
②相手を大切にする心を育てる
③子どもの社会力を育てる

一つ目の自立した学び手を育てるというのは、言わば「生きる力」を育むことです。これまでの日本の教育は、与えられた課題をこなし、言われたとおりに動き、みんなと同じことができると高い評価を受けてきました。しかし、これからの時代は、自分で課題を見つけ、自分で解決する力を身につけていかなければなりません。そのために先生方は、個々に合った学びと協働的な学びを視点に、子どもたちの生きる力を育てようと、日々授業改善に努めています。

読み聞かせコンサート

二つ目の相手を大切にするこころとは、言い換えれば相手のことをよく理解することです。これからは多様性の時代です。誰も差別されたり区別されたりすることのない世界を目指し、学校では、道徳の授業や体験学習を通して、相手を思いやる心を育てることを大切にしています。

畑楽会芋掘り

三つ目の子どもの社会力とは、自分の身近な人間関係を通して社会をより良くしようとする意欲や態度のことです。学校では、異学年交流や地域の方々との交流活動を多く取り入れています。子どもたちの近くにお手本となる先輩や大人がいて、一緒に活動したり、交流したりすることによって、社会力が育ちます。

## 地域とともにある学校

大堀小学校に学校運営協議会が設置されて今年で六年目となります。地域の方々と共に学校づくりを進めてきましたが、一方で「学校を核とした地域づくり」という視点も大事にしなければなりません。今年発足した「畑楽会」を、自立した地域の活動団体として位置づけ、図書室開放事業や地域写真展の開催は、地域の方の居場所づくりや地域の良さを再発見するねらいがあります。

このように学校や子どもたちを中心に据えながら「地域づくり」と「学校づくり」を一体化させ、コミュニティスクールを推進していきたいと思います。

## ヤギの飼育を終了します

総合学習で四年生は、ヤギについて学んできました。本気でヤギの「クロサキ」のことを調べた四年生はクロサキにとって本当の幸せな環境とは・・・、という問いにぶつかりました。

何回も議論を重ねた子どもたちは、一つの結論を出します。クロサキとお別れをして、前森牧場に預かってもらうのが、クロサキにとって一番幸せな環境であるという結論です。授業中に泣き出してしまう子どももいましたが、前森牧場にはクロサキの兄弟もいるということもあり、クロサキのためならと四年生のみならず、全校児童が納得してくれました。子どもたちの学習する姿には、「本物の学び」がありました。自分事としてクロサキの命を考えることができたのです。

クロサキとお別れの会

平成十七年の初代メイ、二代目スミレ、三代目クロサキと続いてきたヤギの飼育活動ですが、子どもたちの学びと気づきをもとに、そして時代の変化とともに学校での飼育活動を終えることになりました。当時からヤギの飼育に関わってこられた関係者の皆様に、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。



# 地域おこし協力隊通信

最上町魅力発信のInstagramを見ることができます！
MOGAMITAB0101

## 1年間の活動報告を行ないました！

こんにちは！
今月号は菅大智がお伝えします！

11月7日（火）に私の活動報告会を開催しました。早いもので地域おこし協力隊に着任して1年。町内の農家さん、飲食店を約50件取材してきました。最上町の生産者さんに共通しているのは、こだわりのポイントがあり勉強熱心という点です。私自身多くの学びや気付きがあり、その中で私が感じた都会には無い最上町ならではの良さを報告しました。例えば、私が情報発信に利用しているインスタグラムで1万人以上の方から評価頂いた奥山勝明さん（立小路）が作る合鴨農法によるお米「夢まどか」や、第24回米・食味分析鑑定コンクール国際大会で受賞した高橋隆一さん（上鵜杉）が作る「ほたる米」、多数メディアに出演している農家レストランたらふく工房さんなど、これまで取材してきた内容を紹介するとともに、私が情報発信したことにより注文や購入希望の連絡につながったことを報告しました。

当日は、町外や県外の方にもお越しいただき、参加者よりコメントを頂くなど和やかな雰囲気で行なうことができました。これまで取材にご協力いただいた皆様、当日ご参加いただいた皆様有難うございました。まだまだ回りきれていない飲食店、農家さんもいらっしゃいますので、引き続き取材を通じて町内外へ情報発信していく予定です。2年目も精進して参ります。皆様これからも宜しくお願いいたします。

活動報告を行なう菅隊員（町中央公民館）

# 集落支援員だより

## 食欲の秋、紅葉の堺田「芭蕉の森」を満喫

富沢地区
遊佐　忠孝　支援員

11月2日（木）に緑を愛する会が管理する芭蕉の森（堺田）で行なわれた「あたごこども園年長児焼き芋体験」は、あたごこども園と東法田地区の皆さんとの交流事業。年長児より焼き芋体験の希望があり、緑を愛する会の本間山田会長（堺田）に、焼き芋体験の依頼を快く引き受けて頂いたことで実現しました。旧東法田小学校敷地内で苗（紅あづま）の移植栽培を6月14日に、収穫を10月11日に行ない、炭焼き窯で焼かれた炭を使用して焼き芋体験を行ないました。

当日は、前日までの雨模様から一転、良い天気に恵まれ絶好の焼き芋日和になり、19名の年長児たちは、芋が焼けるまでの間、芭蕉の森の広大な自然の中で炭焼き窯に興味を示したり、先月草刈りをした枯草の上で寝ころび、気持ち良さそうに快晴の秋空を眺めたりするなど、存分に野外活動を楽しんでから、美味しい焼き芋を堪能していました。

おいしそうに焼き芋を食べる年長児たちの姿を見た会員の皆さんからは「子供たちと交流することが一番元気が出る」という声も聞かれ、焼き芋体験を終始楽しんでいました。

もうすぐ寒い冬がやってきますが、年長児たちにとって緑を愛する会の会員の皆さんの協力とおもてなしは、身も心もほっこりする体験になったと思います。